

トップメッセージ



経営管理委員会会長
伊 藤 清 孝



代表理事理事長
荒木田 裕 樹

みなさまには、私ども岩手県信用農業協同組合連合会（愛称「JA岩手県信連」）をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

当会の業務運営方針や令和6年度の業績及び業務内容をご紹介しますため、ディスクロージャー誌「JA岩手県信連の現況」を作成いたしました。ご高覧いただき、当会に対するご理解を深めていただければ幸いに存じます。

当会は昭和23年の創立以来、農業専門金融機関並びに地域金融機関として、岩手県農業の振興・発展と、地域のみなさまの事業や生活向上に資するべく金融サービスの提供に努めてまいりました。

令和6年度は、基調的な物価上昇や為替円安、春闘における民間平均賃上げ率の大幅上昇などを要因に、二度に亘り政策金利が引き上げられました。また、金融政策を受けて株価が乱高下するなど金融環境が大きく変動した年度となりました。

農業情勢では、制定来初めて「食料・農業・農村基本法」が改正されたほか、夏には「令和のコメ騒動」が勃発し、米価上昇やその後の政府備蓄米の放出につながる事態となりました。他方、肥料や飼料、燃料価格の高止まり、物価高騰による和牛肉の消費減退、豚熱及び鳥インフルエンザと県内でも家畜感染症が相次いで発生したことに加え、大船渡市で発生した大規模林野火災の影響等、農業を取り巻く環境は厳しい状況が継続しました。

そうした情勢にありますが、当会は「持続可能な岩手農業の確立」と「農業・くらし・地域への金融仲介機能の発揮」に向けて、JAグループの一員として取り組んでまいりますので、なお一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年7月

経営管理委員会会長 伊 藤 清 孝
代表理事理事長 荒木田 裕 樹